

青山学院スクールモットー

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

(マタイによる福音書 第5章13～16節)



青山学院中等部

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
TEL 03-3407-7463

<https://www.jh.aoyama.ed.jp>



# AOYAMA GAKUIN

JUNIOR HIGH SCHOOL

## 2025



青山学院中等部



## 中等部進学を考えている皆さんへ

中学生として過ごす3年間は、皆さんの人生にとってかけがえのない大切な期間です。これからの人生の進むべき方向を探し求め、その基礎を育む時期、あるいは、様々な事गराに会い、夢中になって挑戦することで、自分に与えられた賜物(能力、才能)を伸ばす時期でもあります。

皆さんはどのような人々と出会い、どのような環境のもとでこの3年を過ごしたいと思いますか? 聖書に「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。(箴言27・10)」という言葉があります。皆さんはこれから出会う多くの人々によって磨かれ、成長していくのです。青山学院中等部は、多くの人々を引き付け、新しいものを生み出すエネルギーに満ちた最先端の街、渋谷に位置しています。またキャンパスには幼稚園生から大学生、世界中からの留学生や各分野の第一線の研究者たちなど、年齢・性別・国籍を超えた様々な才能ある人々が集い、過ごしています。

青山学院中等部には皆さんと、これから出会う皆さんの友人たちが互いに磨き合い、自由な雰囲気の中で、クリエイティブ(創造的)な人間へと成長していく環境が整っています。そんな青山学院中等部で学んでみませんか。

皆さんと共に学べる日が来ることを心より願っています。

青山学院中等部 部長  
上野 亮

## 青山学院教育方針

The Educational Policy of Aoyama Gakuin

青山学院の教育は  
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き 真理を謙虚に追究し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。

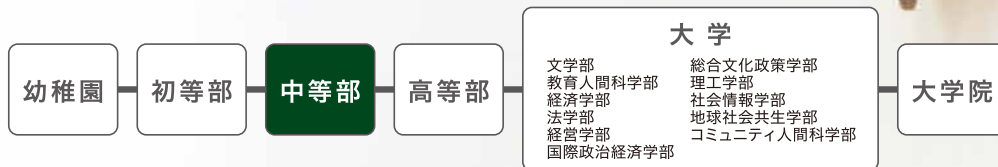




## 青山スピリッツの継承

中等部から大学まで、一貫した教育体制の中で安心して充実した教育が受けられます。

青山学院の中等部の生徒は、95%以上が高等部に進学しています。高等部では、青山学院大学にない他大学の学部などに進学する場合を除き、85%以上が青山学院大学に内部進学しています。そのため、受験勉強や競争にとらわれない、ユニークで幅広い学びができます。



中等部

高等部

大学

## 明治初期から続く青山学院の軌跡

青山学院の源流は、明治初期にアメリカから来日した3人の宣教師が開講した「女子小学校」「耕教学舎」「美會神学校」の3校からなり、今年で創立150年を迎えます。

1947年(昭和22年)、第二次世界大戦後の教育改革の中で、中等部は新しい男女共学の中学校として開設され、開校以来キリスト教に基づく一貫教育を行っています。

## 中等部の沿革

1947年に開設され、2022年に創立75周年を迎えました。

### 1947

#### 草創期 1947-1965 【昭和22年～昭和40年】

1947年の創立後、木造2階建校舎で始まった中等部。その後体育館・図書館・工作室・新校舎も建設。

- 1947年 第1期生の入学式を挙行
- 1951年 「学友会」を発足
- 1965年 新校舎が完成



### 1966

#### 飛翔期 1966-1976 【昭和41年～昭和51年】

大きな特色である3年生の選択授業がスタート。現在に至る青山学院講堂も完成。

- 1969年 青山学院講堂が完成
- 1971年 3年生の選択授業を開始
- 1975年 「飛翔の鐘」を建設



### 1977

#### 変革・発展期 1977-1996 【昭和52年～平成8年】

この時期、中等部・高等部を一本化して、現在の青山学院一本化の基礎を築きました。

- 1977年 グラウンド改修  
アーバンコート完成
- 1986年 中等部・高等部を一本化
- 1996年 水泳授業を開始



### 1997

#### 新世紀 1997-2023 【平成9年～令和5年】

グローバル時代を反映して海外訪問プログラムを開始。新校舎も設立して現在に至ります。

- 2001年 フィリピン訪問プログラムを開始
- 2003年 韓国・学校訪問プログラムを開始
- 2005年 3年生沖縄旅行を開始
- 2009年 講堂の鐘を設置
- 2017年 現在の新校舎が完成
- 2019年 礼拝堂が完成
- 2024年 北京訪問プログラム開始



## 2025 さらに未来へ!



# キリスト教教育

Christian Education

キリスト教教育について、詳しくはホームページへ

<https://www.jh.aoyama.ed.jp/education/religion.html>



## 真実を求める心を培い、 自分と隣人を愛する 人格教育を大切にします。

キリスト教教育は、米国メソジスト教会の宣教師によって建てられた青山学院の教育の根幹をなすものです。

キリストの愛に触れ、自己の生き方を見つめ、隣人を愛し社会に貢献する人間に成長してくれることを願っています。

### Message for Parents

本校ではキリスト教の信仰を押しつけることはありません。謙虚に先人の叡智を学ぶ心や、友人を大切にする心を養い、長い人生を歩んでいく上で、心の支えや道標となる言葉や思想に出会ってほしいと思います。



### 神の愛を感じる 毎日の礼拝

毎日(2時間目と3時間目の間の15分)、全校生徒がHRで礼拝を行います。聖書の御言葉(みことば)を通して自分を振り返る毎日の礼拝は、本校が最も大切にしている時間です。

### 週に1回の 「聖書」の授業

毎週1時間、聖書を手に取り、自分自身や隣人について、また神と私たちの生きた関係について学びます。キリスト教に関する学習にとどまらず、人としての生き方を仲間とともに考えます。

### キリスト教に触れる 特別な行事

イースターやクリスマス、特別礼拝、点火祭や宗教講演会など、キリスト教に深く触れる行事があるのも青山学院の魅力。また、隣人愛を育むために、掃除活動や老人ホームの訪問など様々な奉仕活動も行っています。



# 中等部の教育の特色

Characteristics of Junior High School Education

教育の特色について、詳しくはホームページへ

<https://www.jh.aoyama.ed.jp/education/index.html>



## ゆとりある環境の中で 一人ひとりの 個性と自主性を育みます。

本校では、基礎学力の習得はもちろんのこと、一人ひとりの生徒の可能性を引き出し、その個性と自主性を伸ばす教育が特色です。学校全体を「問い続ける学びの場」として、充実した設備に囲まれながら、みずからの学びを積極的に追求していきます。



### 知性と人格を磨く 充実した教育カリキュラム

将来に必要な学力をつけながら、それぞれの個性や才能を磨くために、充実したカリキュラムを取り入れてしっかりサポートしています。さらにキリスト教信仰に基づいて、たがいに協力し合う人格も育てます。



## 少人数でゆとりある 学びの環境を完備

きめ細かい指導を行うために、一人ひとりに目が届く全学年1クラス32名8クラス制を導入しています。週5日制・31時間授業で、ゆとりを持ちながら基礎学力の充実を図っていきます。



### Message For Parents

めまぐるしく変わるこの現代社会に適應できるように、最先端のICT設備などを完備してお子さまをサポートします。多彩なツールを用いて知的好奇心を刺激し、能動的な学びを引き出すことが大切だと考えています。



## 従来の科目にとられない 週2時間の選択授業

3年生が履修する週2時間の選択授業も中等部の教育の大きな特色です。毎年25講座前後を開講。韓国語・ソーシャルインベーション入門・暗号・名画の模写など、従来の科目にとられないユニークなものも多く、生徒は自分が関心あるものをさらに深めていくことができます。





# 次世代型 教科センター方式

Next Generation Subject Center Method

次世代型教科センター方式について、詳しくはホームページへ

[https://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/new\\_building.html](https://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/new_building.html)



## 知的好奇心を刺激する 次世代型の学習へ。

2017年に完成した新校舎では、メディア・センター(図書館)を核として各教科がメディアスペース(MS)を充実させた新しい学びの方式を採用。中学生という多感な時期に各教科の充実した豊かな教材・教具に触れることは、その後の学習意欲や成長に多大な影響を与えます。さらにそのスペースでは、学習形態を自由に組み合わせたアクティブ・ラーニングの授業も展開することが出来る次世代型の学習環境が整えられています。

### Message For Parents

「次世代型教科センター方式」は欧米型の教室移動と共にHR教室での授業を組み合わせた青山学院中部ならではの特徴です。未来へ向う充実した教科教育が可能になります。

社会科MS



理科MS



国語MS



体育科MS



### メディアスペース(MS)

校舎全体に展開された、各教科の教材・教具・生徒作品などが常時展示された刺激を与えるオープンスペース。ここでは様々な展示や協働学習の場のみではなく憩いの場としても活用されています。



### メディアセンター(図書館)

授業や探究学習などで役立つ様々なメディア類を幅広く備え、各教科のメディア・スペースへ展開し、生徒の持つ想像力・表現力・コミュニケーション能力を更に高めます。



英語科MS



数学科MS



美術科MS



技術科MS





# 教科学習

Subjects



幅広い視野を持った人間として、  
基礎学力の充実を図ります。

単に知識をつめこむのではなく、教科を学ぶことで  
自分に与えられた賜物(能力・才能)を伸ばし、  
この世界で貢献できる人間となることを目指します。  
学習意欲を高め、主体的な学びを促すために、  
生徒中心の教科センター方式(P.9)を導入し、  
より興味を深めた学習ができるよう配慮しています。



## 数学

Mathematics

思考力を養い、深める

基本的な概念や原理・法則の理解を  
深め、事象を数学的・論理的に考察し、  
自ら問題解決する能力を育てます。



## 社会

Social studies

多面的視野で世界を見る

一人の市民として多面的・多角的な視野  
を持って考え、社会の課題を発見し、主体  
的に解決するための力を養います。

## 理科

Science

科学を学び、自然を理解する

実験・観察を重視し、自然に対する深い  
理解と関心を育てます。科学的な見方、  
考え方を育成し、人間や社会への科学の  
責任を考えます。



## 英語

English

国際化時代のために

国際的なコミュニケーションの道具として  
英語を学び、国や文化の違いを越えて、  
社会に貢献できる人を育てます。



## 音楽

Music

豊かな感性を育む

音楽によって表現することや、感動する  
心を育てます。音楽の仕組みを理解する  
ことによって感性を育てていきます。



## 美術

Art

自己表現できる力を

素材との触れ合いを通して人生を問い、  
自己表現し、自分を発見して確立します。



## 聖書

Bible class

神と出会い、神に生かされ  
ている自分に気づく

毎日(2時間目と3時間目の間の15分)、  
全校生徒がHRで礼拝を行います。  
週1時間の聖書の授業ではキリスト教に  
関する学習にとどまらず、人としての生き  
方なども学びます。



## 国語

Japanese

ことばと心を豊かに

聞く・話す・読む・書くことを有機的に機能  
させ、豊かなことばと心で深く考える力を  
養い、相互理解を深めます。



## 技術家庭

Technology / Home Economics

衣食住の生活力を学ぶ

プログラミングなどの情報分野に力を入れ  
ながら、ものづくりの大切さや、生活に  
対する実践的な態度を培います。

## 保健体育

Health / Physical education

健康で安全な人生を

運動技術、技能を身につけて体力向上を  
図り、生涯健康に生きる基礎を培います。





# 選択授業

Elective Lessons

選択授業について、詳しくはホームページへ

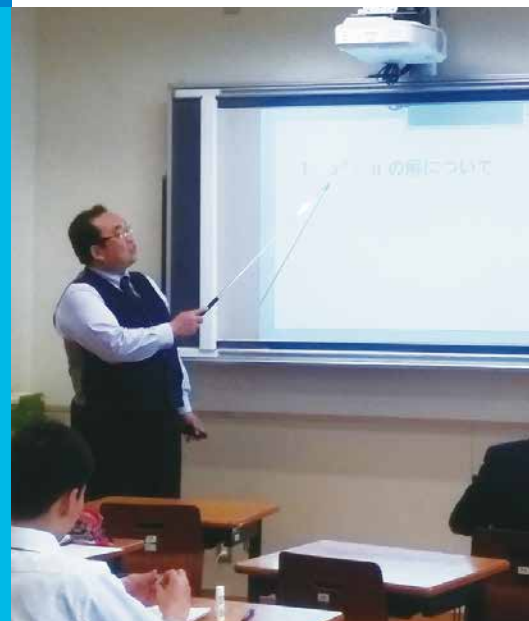
[https://www.jh.aoyama.ed.jp/subject\\_list/選択授業/](https://www.jh.aoyama.ed.jp/subject_list/選択授業/)



## 才能と可能性を伸ばす ユニークな発展的学習。

3年生が履修する週2時間の選択授業は、従来の科目にとらわれないユニークなものがたくさん。個人の特性に応じた学習を通じて、関心のある分野を追求する資質を伸ばします。

※毎年25講座前後を開講。



### 数学 暗号入門

Introduction to cryptography

暗号の歴史をたどり  
数学的思考を身に着ける

紀元前から続く暗号の歴史から現代の公開鍵暗号まで学び、数の理論がどのように関係しているのか学びます。暗号の作成や解読も行いますがメインは数学です。有名なフェルマーの最終定理なども紹介。



### 美術 テンペラと油彩

Tempera and oil painting

中世西洋の名画を彩る  
奥深い美の世界

卵の黄身を使って描く「エッグ・テンペラ」をベースに、その上に油彩を重ねる技法を習得。中世の雰囲気味わいながら、1枚の名画の模写を1年かけてじっくり取り組み、その額縁とともに仕上げます。

### 国語 俳句

Haiku

5・7・5で表現する  
自然を愛する心

季節感ある言葉(季語)を学び、句会をします。外に出て俳句を作る「吟行」では、日帰り小旅行や一泊吟行会に行くことも。(過去に狭山新茶摘吟行、御嶽・奥多摩一泊吟行、鎌倉・江ノ島吟行を実施)



### 理科 理科実験

Science experiments

高度なテクニックを  
要する実験に挑戦

それぞれがテーマを決めて実験・観察を行い発表。たとえば化学では水溶液の分析、香料の合成、生物では解剖を通じて進化の過程を学び、物理では水ロケット・火薬ロケットなどを作成し、力学を学習します。



### 韓国語 韓国のことばと文化

Korean language and culture

アンニョンハセヨ!  
参加型の異文化体験

韓国語の簡単な読み書き・文法を学び、韓国語で自分の意志を簡単に表現できることを目指します。ドラマやK-POP・韓国料理実習や伝統衣装試着・交流会などを通して楽しく異文化体験ができます。



### 社会

#### ソーシャルイノベーション入門

Introduction to Social Innovation

現代社会の課題について  
主体的に学ぶ機会を

各自関心のある現代社会のトピックを調べ、多様な意見・立場を理解し、新しい視点や方法で協働する力を養います。株式学習、模擬国連、校外学習や外部の専門家による特別授業の機会なども設けています。



### 体育

#### ラクロス

Lacrosse

迫力とスピード感ある  
ユニークなスポーツ

バスケットや野球、サッカーなどメジャースポーツだけではなく、中学校の授業では珍しい専門的なスポーツに触れることで、独特の楽しさや魅力、そして自分自身の新たな可能性を知る機会となります。



### 中国語

#### 中国語紹介

Chinese language introduction

言葉・文化・習慣を学び  
国際人としての一步を

聴く・話すを中心に発音を基礎から学び、同時に中華街散策や調理実習などを通して文化・習慣も総合的に学習。さらに企業との連携で認知言語学を応用したeラーニングを導入。全国中高で初の試みです。





## テクノロジーで教育を活性化する、 先進的な取り組み。

「ICT教育の先駆的存在」である青山学院中部では、  
先進の機器を駆使した恵まれた学びの環境を提供し、  
新時代を生き抜く探究心を培います。

## 全校生徒 タブレット完備

高度な情報社会の現代、スマホ世代の  
生徒たちには教科書やノートと同じように  
ハイスペックな情報機器を使いこなせる  
学習環境が必要だと考え、2020年から  
1年生全員にタブレットパソコンを配布  
しています。



## 時代に合わせて 新しい学びを

ICTを活用した授業では、動画や音声  
も使いながら、時にはゲーム感覚で能動  
的で多角的な学びを実現。一人ひとりの  
学習速度や興味に応じた対応も可能に  
なり、テクノロジーに裏付けされた最新  
の学びを提供します。

## “空間の特別感” ICT教室

メディアセンターの2階には、各専用教室  
に設置されているICT機器とは別に、  
空間そのものに特別感のあるICT教室  
を設置。様々なツールを用いて自由に  
学び、表現できます。



## オンライン授業

### 新しい時代に対応した<オンライン授業>。 多様な最先端の学びを臨機応変に提供。

2020年以降の休校期間中は、様々な配信授業を実施して、  
学力を低下させることなく学習を継続しました。  
最先端のオンライン授業ならではの特色を活かし、  
今後も臨機応変に対応していきます。



pick  
up

## 中国語の授業

座学と並行し、企業と連携して中高初の  
中国語eラーニングを導入。通常の1/2  
~1/3の短時間で中国語検定に合格！



pick  
up

## 英語の授業

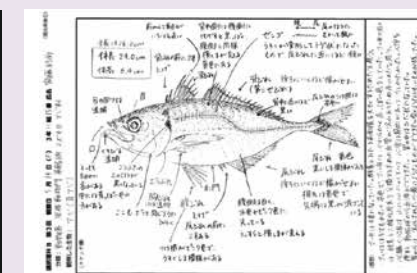
ネイティブの先生がオンラインで配信した  
会話の動画を見て、生徒も動画を作成して  
課題を提出します。



pick  
up

## アジの観察

自宅でもできるように、解剖や観察方法  
を動画で紹介。スケッチや観察したもの  
は画像で提出します。





# クラブ・同好会

Extra-curricular activities

クラブ・同好会について、詳しくはホームページへ

[https://www.jh.aoyama.ed.jp/school\\_life/club/index.html](https://www.jh.aoyama.ed.jp/school_life/club/index.html)



心から打ち込めることに会う喜び。  
夢と可能性が広がり、人生がより豊かに。

中等部では、仲間とともに自分の“好き”を追求できる  
豊富な課外活動が充実しています。  
中学の時に会ったスポーツや趣味は一生の宝物です。

## 〈体育会系クラブ〉

剣道部／サッカー部

男子テニス部／女子テニス部

男子バスケットボール部

女子バスケットボール部

バレーボール部／水泳部

卓球部／チアダンス部

バドミントン部／ハンドボール部

野球部／ラクロス部

ラグビー部／陸上部

## 〈同好会〉

柔道同好会／スキー同好会

## 〈文化系クラブ〉

アートクラブ／家庭部

茶道部／箏曲部

創作漫画部／吹奏楽部

ハンドベル部／放送部

マイコン部／科学部

## 〈同好会〉

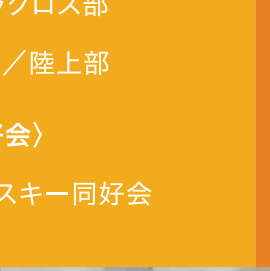
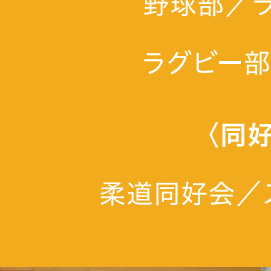
囲碁将棋同好会／演劇同好会

オルガン同好会／音楽同好会

国際交流同好会

文芸同好会／緑信会

地理歴史研究同好会







国や文化の違いを越えて、多様性を共有する。  
国際人を育む多彩なプログラムが充実。

世界中の人々が「愛と平和」のうちに互いに認めあい、共に生きるために。  
実践的な国際交流の体験を通してグローバル感覚を身に付け、日本への理解も深めます。

Global  
国際訪問

異文化に触れ、国際感覚を養う

色々な国の人々と交流することは、それぞれの国の文化や歴史、考え方や生活習慣などをより深く知る上で大切なこと。  
中部では、フィリピン、韓国、北京の同世代との交流プログラム、東京韓国学校との交流会などを行っています。

フィリピン訪問プログラム

隔年、春休みに実施します。フィリピン訪問はチャイルド・ファンド・ジャパンを通して中部が支援しているチャイルドを訪問するプログラムです。いくつかの学校も訪問します。フィリピンの生徒との交流を通して、相互に理解を深めるという目的で行われます。



韓国・学校訪問プログラム

韓国訪問では梨花女子大学附属中学校と交流を図ります。ソウル近郊の史跡を見学し、相互理解を深めます。異国に触れ、学ぶことが出来る貴重な体験プログラムです。また新宿にある東京韓国学校とも毎年交流会をひらき、隔年でお互いの学校を訪問しています。



中国・北京訪問プログラム

2023年度より新たに始まったプログラムです。この中国訪問では、北京大学附属中学校と交流を図ります。北京市内・郊外の観光、博物館見学等を行い、中国の文化・歴史・習慣を学ぶとともに、英語を用いて中国の同じ世代とコミュニケーションを図ります。



オーストラリア・ホームステイ

毎年、夏休みに14日間、ブリスベン郊外で行います。ホームステイ先の子供が通う中学校Immanuel Lutheran College (ILC校)と一緒に登校して、午前中は主に英語のレッスン、午後は授業へ参加します。その他にもアポリジニアの体験など数々の体験学習を行います。



イギリス・サマープログラム

2024年度より始動する寄宿制のプログラム。夏休みに14日間、午前中はレベル別の英語レッスン、午後は各自が選択したアクティビティに参加します。日本人の割合は15%以下に抑えられ、アジアだけでなく欧州諸国からの参加も多く、多様な背景をもった同世代との共同生活の中で、違いを認め合いながら生きる英語を学びます。



Global  
チャットルーム



学校の中で異国体験

国際交流の一環として、海外の大学協定校からの交換留学生たちと異文化交流を行っています。自由な雰囲気の中でランチをとりながら様々な話題で盛り上がることも。

Global  
TGG



都内で異国体験 TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)

日常から離れ、都内にいながら海外をイメージして作られた街並みの中でグローバルな世界を体験します。生徒は、グループワークやプレゼンテーションを通して、普段学習している英文法や単語を駆使し、積極的にコミュニケーションをとろうとする様子が見られます。

機能性・安全性・独創性に富んだ環境の中で  
豊かで楽しいスクールライフが送れます。

毎日の学校生活は、勉強はもちろん、様々な活動や交流を通じて、自分を知り、仲間を大切に作る心を育みます。学校のあらゆる場所が、創造的な活動の場となります。

LIFE  
制服

自由度の高い制服



- 【男子】 上下とも濃紺の背広型ブレザー、白のワイシャツに紺のネクタイ。
- 【女子】 グレーの襟なしブレザーと白のブラウス、スカートはチェック柄であれば自由です。夏場はブレザーやネクタイは着用しなくてもOK。
- 【オプション】 夏場のブレザー、冬場のオーバーコートは自由で、紺のセーター・ベストで通学してよい期間があります。

LIFE  
学友会

生徒による、生徒のための

学友会は学校行事の企画・運営や、学校を良くするためにどうしたらいいか考え活動している生徒会のような組織。皆で団結して様々なプロジェクトに挑み、生徒の自治・自主精神を養います。



LIFE  
メディアセンター

新発想の知の拠点

いわゆる図書館ですが、単に本を読む・借りる設備ではなく、各教科のメディアスペースと連携しながら、学校全体で学びを深める一翼としての機能を担っています。



LIFE  
相談室

安心して過ごすために

心身ともに健康でより良い学校生活が送れるように、専門のカウンセラーによる相談を毎日行っています。自分自身のこと、友だち関係のこと、どんなことでも大丈夫。



LIFE  
スタディルーム

年代を越えた交流を

放課後に大学生がスタディルームに常駐して勉強をサポートします。青山学院の一貫教育により、年代を越えた交流ができる環境は社会の縮図そのもの。







かけがえのない大切な思い出を仲間とともに。  
学校行事に主体的に参加して自主性を高めます。

学習の一環として学校行事に参加し、それぞれが責任を持って目的に沿うよう努力して行動します。

キリスト教関連や国際交流の独自の行事も充実。

## 1日の流れ

Daily Schedule

SHR  
AM8:15  
▼  
AM8:20



1時限  
AM8:25  
▼  
AM9:10

2時限  
AM9:20  
▼  
AM10:05

礼拝  
AM10:15  
▼  
AM10:30



3時限  
AM10:40  
▼  
AM11:25

4時限  
AM11:35  
▼  
PM12:20

教育目標の第一に「礼拝と聖書の学びを通して、神をおそれ人を大切にすることを育てる」と謳い、「毎日の礼拝」の時間です。

月・火・水・金曜日

5時限  
PM1:15 ▶ PM2:00

6時限  
PM2:10 ▶ PM2:55

SHR  
PM3:00 ▶ PM3:10

木曜日

5時限  
PM1:05 ▶ PM1:50

6時限  
PM2:00 ▶ PM2:45

7時限+LHR  
PM2:55 ▶ PM3:40

### 最終下校時刻

4月～9月 5時30分 11月16日～1月 4時30分

10月～11月15日 5時00分 2月～3月 5時00分

※考查1週間前から30分繰り上がります。

4月

5月

6月

7月

8月

9月



入学式  
1年オリエンテーション  
イースター礼拝



母の日・家族への感謝の日礼拝  
中間テスト  
1年 HRデー  
情報モラル講演会  
2年 裏磐梯キャンプ  
3年 沖縄旅行



3年 古典芸能鑑賞会  
授業参観



期末テスト  
緑蔭キャンプ  
クラブ合宿  
イギリス語学研修



オーストラリア・ホームステイ・プログラム



奉仕活動

10月

11月

12月

1月

2月

3月



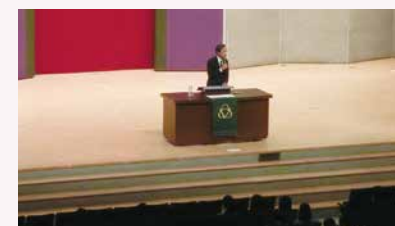
運動会  
中間テスト



中等部祭  
クリスマス点火祭  
音楽鑑賞会



期末テスト  
クリスマス礼拝



国際交流講演会 (偶数年度)  
宗教講演会 (奇数年度)  
伝道週間



3年卒業生講演会



学年末テスト  
学生会送別会  
卒業式  
スキー学校  
フィリピン訪問 (奇数年度)  
韓国訪問 (偶数年度)  
北京訪問 (2023年度～)





## 高田 佳代子さん

会社経営/ジュエリーデザイナー

2002年 青山学院中部 卒業  
 2005年 青山学院高等部 卒業  
 2009年 青山学院大学経営学部 卒業  
 2009年 ニューヨーク留学  
 2011年 帰国。編集プロダクションや出版社でエディター、ウェブエディターとして勤務  
 2015年 株式会社de L'eau設立。代表取締役役に就任  
 ジュエリーブランドoeau(オー)設立  
 ジュエリーデザイナーとしても活躍中

## たくさんの「好き」が未来を拓く 日常を彩るジュエリー体験を

私は今、ジュエリーの会社を運営しています。ジュエリーって生活必需品ではないけれど、ひとつ身につけるだけで気分が華やぐでしょう？ 私が手掛けているoeau(オー)というブランドは、フランス語で「酸素と水」を意味しています。人生とともに歩む一生ものだけど、普段づかいでもできて毎日を輝かせてくれる、そんな存在でありたいと思いを込めてデザインしています。

とはいえ、中等部の頃から将来を決めていたわけではなく、漠然とファッションへの興味があったぐらい。でも、中等部の制服はある程度決まりがある中で、自由度も高くアレンジのしがいがあり、毎日ちょっとずつ工夫して楽しんでいるうちに、好きが高じて将来のデザイナーの仕事につながったのかもしれない。

会社を立ち上げたのは、出版社で勤務していた時に「高田さん、ジュエリー向いてそうだよ」という上司の一言がきっかけでした。私のモットーは「チャンスの神様に後ろ髪はない！」。その一言ですぐに会社を立ち上げ、半年後には展示会をやり、年内にはセレクトショップで販売するという怒涛のフットワークでした。

皆さんも将来に対する漠然とした不安があるかもしれませんが、焦ることはありません。毎日の中で「あ、これ、楽しいかも」というたくさんの「好き」を見つけてください。中等部は自由な校風で先生方もやりたいことを応援してくれます。「好き」が将来の夢につながるかもしれないし、何より日常が豊かに彩られるでしょう。

時には悩むこともあります。そんな時、中等部の毎日の礼拝が一番心が穏やかになる時間。心をリセットして自分と向き合い、悩みを昇華させることができました。青山学院中等部で過ごした毎日は、今の私を形づくる源泉です。ぜひ素敵な時間と人間関係の中で、自分を輝かせるジュエリーのような人生を描いてください。

## 個性あふれる中等部は進路も多彩 卒業後も続く豊かな人脈は宝物

現在は心臓血管・内科の開業医をしています。昨年から青山学院中部の校医も担当しています。健康診断やインフルエンザワクチンの接種のほか、月に数回は学校に行き、養護教諭の先生と連携しながら、たとえば体重が減っている生徒さんとは個別に面談するなど、成長期の皆さんの日頃の健康管理に気を配っています。

幼稚園から大学院のどこかで青山学院に所属したことのある医師が集まる「ドクター青学会」は、卒業後も交流が活発です。医師や教師になった卒業生が中等部に戻って校医や先生になることも多いですね。先生と生徒の距離が近く、でも近すぎない適度な距離感で、過ごしやすい雰囲気があるのはそのためかもしれません。

中等部を卒業した後も、先生方や同級生はもちろん、学年の離れた先輩や後輩たちとも交流が続くのは、青山学院でよかったと思うことのひとつです。野球部の顧問の先生とは今でも交流があり、先日は中等部の野球部の合宿にも同伴したぐらいです。校医としてというよりは、何より私自身野球が好きなので一緒に楽しみたい。今の中等部の皆さんが、クラブ活動や課外活動にもどんどん参加して、楽しい中等部時代を送れるよう少しでもお手伝いできればと思っています。

医師は専門的な仕事ですが、結局は人と人とのコミュニケーションが大切です。限られた時間で、患者さんの事情に合わせて、必要なことを伝えなければならない。中等部は個性的な人が集まるので、さまざまなタイプや年齢の人と語り合える良い訓練の場だったと思います。卒業後の進路も多彩で、有名企業の社長さんいれば芸術関係の方もいる。中等部時代の交流がそのまま将来の自分の人脈になるのです。だから、中等部時代は勉強だけではなく、成功も失敗も含めていろんな経験をして、たくさんの人に出会ってください。それが将来あなた方を支える宝になります。



## 山本 哲平さん

医師

1992年 青山学院中部 卒業  
 1995年 青山学院高等部 卒業  
 2003年 日本医科大学 卒業  
 同附属病院、同千葉北総病院で循環器内科医として勤務  
 2011年 日本医科大学大学院 博士課程修了。医学博士号取得  
 2022年 あきはばら心臓血管・内科 開業  
 2023年 青山学院中部 校医

## 選択授業で受けた「暗号入門」 専門を究める楽しさを学ぶ

青山学院高等部2年

Mさん



僕の学年は入学した年がコロナ禍の始まりで、一度も学校に行けないうちに自宅学習になってしまいました。学校から宅配便で教科書や学用品を入れた段ボールが送られてきて、配信動画を見ながら授業を受ける毎日。最初は緊張したけれど、慣れてくると時間配分も自分のペースででき、時短でも効率よく学べることに気づきました。非常事態ではあったけれど、最先端のICT教育をいち早く体験できたとも言えますね。

中等部には学習意欲をそそる授業がたくさんあります。特に3年生の選択授業でとった「暗号入門」は、入学する前から狙っていて、この授業を受けたというのが中等部の志望動機のひとつでした。授業では、暗号にまつわる最新の数学を学ぶのですが、かなり専門的な内容で、本来なら高校で学ぶユークリッドの互除法とか不定方程式まで扱うのです。暗号を通して、数学、歴史、美術、プログラミング、ミステリなどいろんな要素が絡み合ってくるので、視野が広がりました。

他にも、「国語表現」という授業では課題図書を読んで、他の人が手に取りたくなるブックカバーを創るという実習もあり、普通の読書感想文とは違うアプローチがおもしろかったですね。専門に強い先生方がたくさんいらっしゃるの、授業も行事もいろいろな体験ができますよ。中等部時代はあっという間なので、大切に過ごしてほしいと思います。

## 聖書と日常をつなぐ学院礼拝 貴重な経験が今の原動力に

青山学院高等部2年

Oさん



青山学院中部はキリスト教教育ならではの特徴で、一般の学校ではできないことを体験できる機会が多くあります。たとえば、同じキリスト教系列の日本聖話学校を訪ねる行事があり、その訪問記を記事にして学報に掲載していただいたのは、貴重な社会的経験となりました。

また、毎日の礼拝とは別に、毎月何回か生徒自身がテーマを決めて発表する学院礼拝があります。私は東京オリンピック会場で迷っていた外国人選手に手を差し伸べた日本人スタッフの話や、聖書の「善きサマリア人」の話と結びつけて発表しました。全校生徒の前で発表した経験は大きな達成感があり、人前に立つ苦手意識も克服できたと思います。

中等部ならではの国際交流も活発です。オンラインで北京の学校と結んでお互いの文化を英語で紹介し合ったり、チャットルームではいろんな国の留学生と自由におしゃべりしたり、さまざまな場が用意されています。おかげで今は、英語で話すことに抵抗がなく、会話を楽しんでいます。

中等部の最後に、男女1名ずつ成績優秀者を表彰する私学表彰は絶対に欲しくて、1年生の頃から努力してきたので、夢がかなった時は本当に嬉しかったですね。多くの経験が今の自分の自信や原動力につながっています。常にアンテナを張り、一見興味のないことでも挑戦してみてください。きっと視野が広がって将来につながると信じています。

## プロのサッカー選手をめざして！ 挑戦を応援してくれる環境

青山学院大学 法学部2年

堀 伸乃心さん



僕は今、青山学院大学で体育会サッカー部に所属し、練習に励んでいます。サッカーを始めたのは小学1年生の時。すぐに夢中になり、いつかプロの選手になりたい、本気でやるなら受験などで練習時間が分断されない一貫校がいいだろうと思い、青山学院中部を受験しました。

中等部時代は、浦和レッズジュニアユースというクラブチームに所属していました。毎日の練習は大変で土日試合があり、同級生より時間が限られていたのですが、勉強もおろそかにはしませんでした。文武両道を貫きたいという思いが強かったので、移動中の時間などを有効に使い、教科書やノートを見て集中的に勉強に励んでいました。

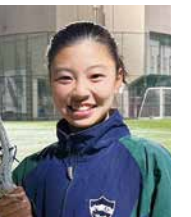
今はプロサッカー選手を具体的な目標にしつつ、大学では法律を学んでいます。法学部を選んだのは、日本は法治国家だから法律が全ての基盤になると思ったからです。選手生命は限りがあるし、引退後の人生もあるので学問やいろんなことを身につけておく必要があると思います。

そんな僕の夢を先生方も理解し応援してくれました。中等部はいろんな目標や価値観を持った人がいますが、ひとつの型にはめるのではなく、それぞれの個性を伸ばし、挑戦することを後押ししてくれる環境が充実しています。思い残すことがないようやりたいことに挑戦してください。たとえ壁に直面しても先生方がサポートしてくださるはずですよ。

## 学友会で活動しながら 友達と一緒に輝いた思い出

青山学院大学 国際政治経済学部2年

内ヶ崎 響さん



初等部の頃から人前で何かをすることが好きで、中等部では2年で学年委員、3年は立候補して学友会の会長になりました。それまで女性の会長はあまり例がなかったけれど、先生から「これからは女性の時代よ」と背中を押していただきました。3年生を送る会では、トランシーバー片手に進行管理をし、大講堂の全校生徒の前で司会をしたのが、いい思い出です。

毎年、東京韓国学校との国際交流もあり、その企画にも参加しました。歓迎の横断幕など準備をするのも楽しく、こういう経験は行事の多い青山学院ならではの経験です。私は様々な分野に何でも挑戦したい性格で、中等部はそれをすべてかなえてくれる環境が整っています。だから後輩たちにも「思い切りいろんなことにトライしてください」と伝えたいですね。

さらに、「自分がリーダーとして何でもやるだけではなく、周りの人とどれだけ一緒に輝けるか」が大切だと、先生に教わったのも中等部でした。その考え方は今の自分にも生きています。

中等部は校舎もきれいで明るく、中庭を囲んで口の字に教室が並んでいるので、他の学年やクラスの人とも自然と交流が生まれます。その頃のつきあいは今も健在です。先生や友達と多くの会話を交わすのは、自分の思いを言語化して伝える良い練習になりました。この秋にはさらにいろんな国の人や新しい自分と出会うため、留学に行きます！



# 高等部インフォメーション

High School Information

高等部について、詳しくはホームページへ

<https://www.agh.aoyama.ed.jp/>



# 中等部インフォメーション

Junior High School Information

入試・入学案内について、詳しくはホームページへ

<https://www.jh.aoyama.ed.jp/admission/index.html>



## 卒業後の進路



青山学院中等部を卒業する生徒の95%以上は青山学院高等部へ進学しています。高等部のホームルーム数は10クラスで、高等部からの入学生と混合になります。高等部卒業生の85%以上は、青山学院大学へ進学しています。

## 高大連携

同じ敷地内に大学のほとんどの学部があるという恵まれた環境を活かし、「高等部生徒による大学授業の履修」「学問入門講座」など大学との連携を深めています。最先端の研究施設にふれたりと、早くから大学の専門分野に特化した学問に接することで、各自の興味・関心を明確にし、学習意欲の向上をはかっています。



## 高等部学問入門講座

総合的な学習の時間の一環として、青山学院大学・専門職大学の教員がそれぞれの専門分野をわかりやすく講義する学問入門講座が、約30講座開講されます。学問の面白さや奥深さに触れることができ、進路選択にも役立っています。

## 高等部制服



従来の男子制服をA型、女子制服をB型とし、性別関係なく選択できます。上衣とズボン・スカートの組み合わせも任意。

【冬季】A型またはB型の所定の濃紺のブレザー。ワイシャツ・ブラウスは白または薄い単色無地。ズボンはブレザーに準ずる色・素材のA型ズボン、もしくは所定のB型ズボン。スカートはひだ付きの繊維製品で色は自由。ネクタイは色・柄・着用ともに自由。正装時のみ、A型ブレザーに合わせて必ずネクタイを着用。

【夏季】白無地のワイシャツ・ブラウス・ポロシャツ。ズボンは冬期と同様。スカートはひだ付きの濃紺無地。

【通年】略装として所定のセーター・ベスト着用可。靴下は必ず着用。スカート着用時は白または紺の膝下ソックス。

## 国際交流



英国・ケンブリッジの名門パブリックスクールであるリーススクール、イタリア・ミラノ郊外にあるクレスピ校の2校と姉妹校提携を結び、数名の生徒による短期交換留学を行っています。また、学院のプログラムでもあるフィリピン訪問プログラムなどを通して、生徒たちが豊かな国際性と価値観の多様性を身につけることができるよう期待しています。

## 入試結果

2024年度	男子	女子	合計
志願者	374	538	912
受験者	329	459	788
合格者	113	91	204
実質倍率	2.9	5.0	—
補欠者	10	10	20
合格最低点	167	185	—

## 2025年度入学試験日程

### 【募集人員】

定員 男女合わせて約140名

### 【願書受付】

●インターネット出願

2025年1月10日(金)～30日(木)予定

※日程が確定しましたら、HPにて公表します。

### 【試験日】

2025年2月3日(月)8:45～12:20 解散は12:40を予定

### 【試験科目・時間】

4科目

国語 100点 50分

算数 100点 50分

社会 50点 25分

理科 50点 25分

### 【合格発表】

2月4日(火)10:00 HP

### 【入学手続】

2月4日(火)10:00～15:00(予定)

中等部校舎

※詳細はHPをご覧ください。

## 教育課程表(授業時間表)

	1年	2年	3年
国語	4	4	4
社会	4	4	3
数学	4	4	4
理科	3	4	4
英語	5	6	6
音楽	2	1	1
美術	2	1	1
保健体育	3	3	3
技術家庭	2	2	1
聖書	1	1	1
特活	1	1	1
選択	0	0	2
合計	31	31	31

## 学校説明会

【日時】《予約制》※受験生同伴可

①第1回 学校説明会 2024年6月15日(土)

②第2回 学校説明会 2024年9月14日(土)

③第3回 学校説明会 2024年10月5日(土)

【内容】(予定:状況によって変更する可能性があります)

- 1) 中等部の教育について
- 2) 学校生活について
- 3) ハンドベル演奏・聖歌隊歌唱
- 4) 入試に関する説明・連絡
- 5) 校舎見学及び入学相談(希望者)

### 【場所】

未定 ※詳細はHPをご覧ください。

## 中等部祭(文化祭)

2024年11月9日(土) 10:30～16:00

2024年11月10日(日) 12:30～16:00

(上履き不要)

※詳細はHPをご覧ください